

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2010.11.15

No.1974
No.16



出席率	会員50名中40名
先々週の出席率	91.49%
ゲスト	R財団国際親善奨学生 向田絵梨子さん
先週の メイクアップ	11/10 三条RCへ 馬場一敏君 飯山勝義君 嘉瀬 修君 野島廣一郎君 11/13 ガバナー連絡会（上越）へ 馬場信彦君

皆さん、こんにちは。

11月は「ロータリー財団月間」です。委員長の坂井範夫さん、ご苦労さまです。そして、2009～10年度財団奨学生の向田絵梨子さん、卓話ありがとうございます。

本日は七五三の日であります。ご存知の方も多いと思いますが、今回は七五三の概要、由来、現状などについてお話してみようと思います。

概要：男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳の年の11月15日に、成長を祝って神社・寺などに詣でる年中行事であります。本来は数え年であります、現在は満年齢で行われる場合が多いようです。地方によっては男の子の3歳を行わない所もあります。現在では全国で盛んに行われていますが、元来は関東圏における地方風俗であったようです。始まりは天和元年（1681年）11月15日、館林城主・徳川徳松の健康を祈って始まったとされる説が有力のようです。

由来と現状：旧暦の15日はかつて二十八宿の鬼宿日（鬼が出歩かない日）にあたり、何事をするにも吉であるとされました。また、旧暦の11月は収穫を終えてその実りを神に感謝する月であり、その月の満月の日である15日に、氏神への収穫の感謝を兼ねて子供の成長を感謝し、加護を祈るようになったそうです。明治改暦以降は新暦の11月15日に行われていますが、寒冷地では1カ月早めて行うことが多いようです。

3歳は髪を伸ばす「髪置（かみおき）」、5歳は初めて袴をつける「袴着（はかまぎ）」、7歳は、それまでの紐付きの着物に代わって、本仕立ての着物と丸帯という大人の装いをする「帯解（おびとき）・紐落（ひもおとし）」の名残であります。女の子はこの時初めて化粧をしてもらう場合が多いようです。また、奇数を縁起の良い数と考える中国の思想の影響もあるようです。

会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

四つのテスト
言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 垂澤 喜一郎 [三条南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

近世までの日本は、現在の開発途上国と同様の状況（栄養不足・健康への知識不足・貧困など）が原因で乳幼児が成人するまでの生存率は極めて低く、そのようなことから、乳幼児の生存を祝う節目として定着したようです。男児が女児よりも早く祝うのは後継者としての意味合いもありますが、医療技術が発達する現代までは、女児よりも男児の生存率が低かったためでもあるようです。また、三歳＝言葉、五歳＝知恵、七歳＝歯を神から授かることを感謝とする地方や、三歳、五歳、七歳は子供の厄として、七五三を一種の厄祓としている地方もあります。

ついでに千歳飴について：七五三は、千歳飴を食べて祝います。千歳飴は、親が自らの子に長寿の願いを込めて、細長くなっており（直径15mm以内、長さ1m以内）、縁起が良いとされる紅白それぞれの色で着色されています。千歳飴は、鶴亀や松竹梅などの縁起の良い図案の描かれた袋に入れられています。江戸時代の元禄・宝永の頃、浅草の飴売り 七兵衛が売り出したのが始まりとされています。

以上、七五三について調べてみました。

幹事報告



野崎 正明 幹事

東山ガバナー事務所より 12月ロータリーレートのご案内

12月1日より 現行と同じく 1ドル 82円

2010年10月14日松ヶ峰カントリー倶楽部にて地区大会記念ゴルフ大会が開催されました。

三野輪明人君が飛賞、記念品が贈られました。

**地区大会
記念ゴルフ大会**

佐々木常行君 34位
佐藤 嘉男君 102位
三野輪明人君 130位

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 11月15日 27,000円
今年度累計 308,000円～

- 坪井君** 娘が結婚しました。なかなか行かなくて、気をもんでいたのですが…。漸く最後の親の責任を果たした気持ちです。
- 大溪君** 寒くなりました。皆さん、風邪など（インフルエンザ）に注意して下さい。本日は、ロータリー財団国際親善奨学生の向田絵梨子さんからお話して頂きます。宜しくお願いします。
- 野崎君** 09～10年度奨学生の向田さん、本日は卓話ありがとうございます。よろしくお願い致します。
- 坂井（範）君** 向田さん、遠い所ありがとうございました。
- 馬場（信）君** 向田絵梨子様をご歓迎申し上げます。私のガバナー年度、親善奨学生として選拔し、フランスへ派遣した方です。卓話を楽しみにしています。
- 田代君** 向田絵梨子さん、本日は卓話に来て頂きましてありがとうございます。

- 吉田君** 向田絵梨子さんの卓話に期待しております。幾ヶ国語もマスターした人にはコンプレックスを感じているのが本心ですが……。
- 鈴木（囃）君** 奨学生の向田さん、本日の卓話、ご苦労さまです。
- 佐藤（秀）君** きれいな結婚記念の花束が届きました。ありがとうございました。
- 佐藤（栄）君** ニコニコするほどのこともありませんが…。笑門来福ということで！
- 西巻君** 寒くなりました。風邪などひかないように！BOXに協力致します。
- 田中君** 雨が降ります。BOXに協力
- 赤塚君、草野君、佐藤（嘉）君、銅冶君、馬場（一）、星野君** BOXに協力致します。

「ロータリー財団国際親善奨学生としての一年」

2009-10 年度国際親善奨学生
向田 絵梨子さん

皆さん、こんにちは。2009-10 年度の国際親善奨学生の向田絵梨子です。本日はお招きいただきありがとうございます。昨年 8 月よりフランスのブルターニュ地方にある、レンヌという街に一年間留学してまいりました。本日はそちらでの生活をいくつか写真を交えてお話させていただきます。

レンヌでの生活を始める前に、ロワール地方のトゥールという街で一カ月間の語学研修を行いました。トゥールはロワール川周辺の古城と白ワインで有名な場所です。滞在はホームステイで、ホストマザーが一匹の猫と暮らしているお宅でした。そこには私以外にもイタリア、ウクライナ、サウジアラビア、スペインからの学生もいて、毎日一緒にご飯を食べたり、一緒にトゥール近郊の古城を訪れたりしました。休日には語学学校の友人たちとモン・サン・ミッシェルにも訪れる機会があり、とても有意義な毎日を過ごしました。



トゥールの市庁舎

トゥールの
ホストファミリーと

レンヌの旧市街

語学研修も終わり、9 月にはレンヌへと引っ越ししました。住むところがなかなか決まらず、初めの一カ月間はレンヌのロータリアンであるアラン・ソレさんと奥様のマリーさんのお宅にお世話になりました。二人にはレンヌやその近郊の街の案内や、これからの生活の諸手続き、また、レンヌのロータリー・クラブへの紹介など、様々な面でのお世話になりました。レンヌを去る最後の日まで、いつも私を気にかけてくれた家族のような存在です。フランスでの年間行事の中でも、クリスマスはとても大きなもので、現在ではフランス国内の敬虔なカトリック教徒は減少しており、教会へ行く人もあまり多くはありませんが、それでも家族一同で過ごすことが一般的です。その際に単身海外に住んでいる留学生は孤独になりがちなのですが、そうならないようにと家族のイベントであるクリスマスにもアランさんとマリーさんは呼んで下さって、私もとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

レンヌでもう一人、とてもお世話になった方が、カウンセラーのマルティン・ボナーさんです。逢ったその日から私のことを自身の家族の様に温かく迎え入れてくださいました。毎週のように昼食に誘ってくださったり、休日には家に呼んでくださったりしました。その際に、日本食を作ってごちそうする機会があり（その時は、茶そばや鶏肉の照り焼き、レンコンのきんぴらなどを作りました。）、マルティンさんの家族や友人のみなさんに喜んでもらえました。とても良い思い出です。



ソレ夫妻と（レンヌ）



ボナー夫妻と私の両親と（レンヌ）

レンヌでは、レンヌ第二大学に通いました。そこでは、大学付属のフランス語学校と映画学部で勉強しました。フランス語にはまだまだ不安があったので語学学校に通うことで、学部での専門的な授業にもなんとかついて行くことが出来ました。映画学部ではヒッチコックやハリウッドの映画作品などが、日本に居る頃からとても興味を抱いていたテーマについて勉強することができ、とても興味深い、また非常にうれしい経験をする事ができました。

また、ABFR というフランスへの国際親善奨学生を支援する団体があり、そちらで開催された二回のセミナーにも参加してきました。一度目はパリで行われ、フランス国内に散らばっていた数十名の他奨学生との意見交換や交流ができ、とても貴重な機会となりました。日本人学生が一番多く、私たちは浴衣や着物などの伝統衣装に身を包み、パリのロータリアンの方々の前で

童謡の「赤とんぼ」を歌って、日本情緒を少しですけれどもお伝えすることができたかと思います。二度目のセミナーはシャンパーニュ地方のエペルネという街で開催されました。エペルネにはモエ・エ・シャンドンをはじめとしたシャンパン工場がたくさんあり、私たち奨学生はそれらを見学し試飲体験もすることができました。ロータリアンの方々とバスに乗って、エペルネから少し離れたランスへも行きました。ランスの大聖堂にはシャガールによる青いステンドグラスがあり、皆でそれを鑑賞しました。

一年という期間は本当にあっという間で、いま思い返してもなんだか夢のようです。けれどももちろん、留学期間中には言葉がわからずにうまく相手に気持ちを伝えられなかったり、文化や習慣の違いに混乱してしまったりと、苦労をすることもありました。パリを訪れた際には、スリといった犯罪や物乞いといった社会問題に直面することもありました。そういったすべてにどう向き合っていくのか、実際に経験することによって自分は成長することができたと思っています。そして、なににつけてもロータリアンの方々の温かい支援に支えられて無事に帰国することができました。日本に帰ってきてからもこのように皆さんとお話をする機会を頂いて、ほんとうに嬉しい限りです。このような人と人とのつながりがどんどん広がっていくところが、ロータリー財団の素晴らしさと身をもって感じています。

最後に、このような体験をする機会をいただいて、本当にありがとうございました。

2009-2010 年度 国際親善奨学生 向田 絵梨子



レンヌRCにて

◇ 略 歴

1985 年、山形県西置賜郡白鷹町生まれ。

山形県立長井高等学校卒業後、米国カリフォルニア州サンディエゴへ留学。

二年半の学業ののち、新潟大学人文学部情報文化課程の三年次に編入学。

四年次に休学し、2009-2010 年度ロータリー財団の国際親善奨学生として新潟北 RC の推薦を受けフランスはブルターニュ地方の県都、レンヌへ。フランス語を中心に、映像文化学を学ぶ。

2010 年 6 月末、一年間の派遣を終え、帰国。10 月から、新潟大学人文学部四年次に復学。

2011 年 3 月、新潟大学人文学部卒業見込み。

◇ その他

母が高田出身、両親ともに新潟大学 OB・OG のため、幼少期から新潟が好き。

新潟の食文化が特に好きで、お米と日本酒は新潟産が一番！が持論。

卒業論文は、スパイク・ジョーンズというアメリカの映画監督について書いています。

最近では、『かいじゅうたちのいるところ』という映画の監督をした人物。

財団プログラムへ理解と協力を

国際ロータリー第 2560 地区
2010-11 年度ガバナー
東山 昕也



樹木の葉も みごとに色づく季節となりました。11月はロータリー財団月間です。すべてのロータリアンが世界中のロータリー財団プログラムとプロジェクトを支援する機会でもあります。

ロータリー財団は1917年、アーチ・C .クラウンRI 会長が「全世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野でより良いことをするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1931年に信託組織に、1983年に非営利財団法人になりました。

ロータリー財団は構成する法人会員が国際ロータリーのみであり、正式の名称は国際ロータリーのロータリー財団と呼ばれています。

ロータリー財団プログラムには大別して「教育的プログラム」、「人道的プログラム」、「ポリオ・プラス・プログラム」があることは既にご存知のことと思いますが、教育的なプログラムの中には民間レベルで最大規模の奨学制度である国際親善奨学金があります。他国の教育機関で学ぶことによって異なる国々の人との理解と友好を深め、国際的人格を養うために寄与するものであります。この制度によって毎年1,000名近くのロータリー財団奨学生が受け入れ国のロータリー・クラブや地区学校や市の機関、その他フォーラムに参加し「優れた親善使節」として行動しています。人道的プログラムでは地区補助金制度が2003年7月よりスタートしており、徐々に理解され件数も増加傾向にあります。これは地区内ばかりでなく海外での人道的奉仕プログラムに使用できるものです。

私達を取り巻く社会環境の中には、ニーズの目的に適した財団プログラムを通しての機会は多々あると思われます。どうか少しでも多くの寄付をしていただき、その寄付により地区やクラブの裁量で行える奉仕によりこのプログラムがクラブの活動になることを期待しております。DDFを使つてのマッチング・グラントもありますし月額補助金が財団より出ますので2倍の奉仕活動が得られます。ロータリー財団プログラムは時代の求めに応じて広範になり、理解しにくい面もありますが、ロータリー財団月間を機会に「ロータリー財団活動に寄付」という意識から「ロータリアンのためのロータリー活動への参加」という意識に変え、ロータリー財団を大いに活用し社会改善の架け橋となつていただきたいと思います。

「毎年あなたも100ドルを」全世界の全てのロータリアンが毎年財団に米貨100 ドルの寄付を行うというシンプルな発想です。

毎年全ロータリアンが平均100ドルを寄付するという目標が達成できれば、毎年ロータリーのプロジェクトに1億2千万ドルの資金がもたらされることになるからです。

すなわち、この1億2千万ドルで、飢餓を軽減し、識字率を向上させ、ポリオをはじめ、病魔と闘うプログラムを実施することができるのです。

ロータリー財団月間によせて、私達一人ひとりがどのようにしたら意義のある貢献ができるものか、一緒に考えてみましょう。

12

december



by Shuji Hiramatsu

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			1 ◆三条RC 「年次総会」	2 ◆東RC 「年次総会」	3	4
5	6 ◆南RC 「年次総会」	7 ◆北RC 「年次総会」	8 ◆三条RC 卓話 中村光一会員	9 ◆東RC 卓話 三条北RC 佐藤弘志会員	10	11
12	13 ◆南RC 卓話 野水孝男会員	14 ◆北RC 卓話 下村啓治会員	15 ◆三条RC 卓話 渡辺勝利会員	16 ◆東RC クリスマス例会 18:30～ 於:ロイヤル ホテル	17	18
19	20 ◆南RC 忘年家族会 18:30～ 於:饒心亭 おゝ乃	21 ◆北RC 25周年 記念例会 18:30～ 於:ワシントン ホテル ※記帳できます	22 ◆三条RC 忘年家族会 18:30～ 於:越前屋 ※記帳できます	23 天皇誕生日 ◇東RC 休 会	24	25
26	27 ◆南RC 温故知新・ 歴代会長卓話 西巻克郎 第21代会長	28 ◇北RC クラブ休会 ※記帳できます	29 ◇三条RC クラブ休会 ※記帳できます	30 ◇東RC クラブ休会 ※記帳できます	31	

***近隣RC例会変更のお知らせ**

- 加茂RC 12月16日(木) 家族忘年会
- 吉田RC 17日(金) 夜例会
- 燕RC 30日(木) → 25日(土) クリスマス家族会

記帳場所

加茂産業会館
山岸会計事務所
燕三条ワシントンホテル

表紙について



ラファエル・コラン (1850～1916)

■「令妹の像」 1890年

鹿児島市立美術館

ロータリーの友 1988年11月号表紙より

三条南ロータリークラブ週報

2010.11.15

No.1974 No.16